

小松菜の栽培

1 年 T. M

小松菜の特性

- ・ 生育温度 3℃～35℃
- ・ 旬は？ 冬
- ・ 栄養価は？ ビタミンAに富み鉄分などのミネラルが豊富でカルシウムの含有量が高い。
- ・ 小松菜を食べるとカルシウムの使用量が高くなる。

小松菜の育て方

・土づくり 種まき

(11月2日)

ポリポットに鉢底ネットを敷く。

培養土を 400ml ポリポットに入れて、化成肥料を元肥として

4 粒入れる。そこに培養土を 200ml 入れる。中央に深さ 1cm

程度の穴をあけて種を 3 粒入れる。覆土する。そして学番が書かれた札を立てる。最後に記念写真を撮る。



・間引き (月日)

発芽がそろったら、生育の悪いものを間引きします。他と比べて葉が小さいもの。変形しているものなどから 3~4 cm 間隔に間引きします。引き抜いたときに、残したい株まで一



緒に抜かないように、注意して行います。隣の株の葉と触れ合うか、触れ合わない程度の株間にします。間引きが遅れると、弱々しい株になるので、間引きの時期を逃さないようにします。そして残した株に、指で土寄せします。

- ・ 追肥（月日）（月日）
（月日）（月日）（月日）

液肥の原料を 1000 倍の水で薄める。じょうろに入れて、水をまくように十分に施します。



- ・ 低温対策

今年は寒かったので、ビニール袋をかけて、ビニールハウスのようにします。そうすると暖かくなって、小松菜が育ちやすくなります。



小松菜を食べよう！

〔調理名〕

小松菜のオカカマヨ

〔材料〕

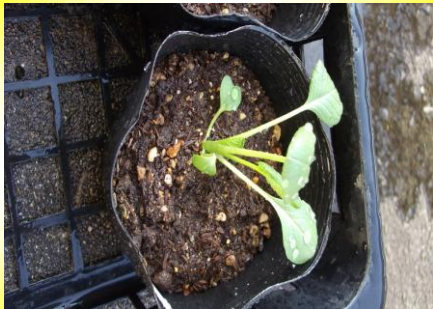
小松菜・お酒・鰹節
マヨネーズ



〔調理した感想・食べてみた感想〕

私は、自分で野菜を作り、食べるという経験があまりなかったので、とてもおいしく感じました。小松菜をマヨネーズであえて食べるのはよく家であったのですが、こんなに新鮮な小松菜はあまり、食べることができないと思うのでよかったです。私の小松菜は、大きくもなく小さくもない大きさに、お店で売っている小松菜と全く違ったから、どんな味がするのだろうと心配でした。しかし、食べてみるとおいしくて、びっくりしました。自分で作った小松菜をおいしく食べることができてよかったです。

肥料有り と 肥料無しの比較

観察日	肥料有り	肥料無し	作業内容
12月7日			観察 追肥
12月14日			観察 追肥
12月21日			観察 追肥
1月11日			観察 追肥

観察日	肥料有り	肥料無し	作業内容
1 月 18 日			観察 追肥
1 月 25 日			観察 追肥

あなたの収穫量

2. 67 g / 株

学級の収穫量平均

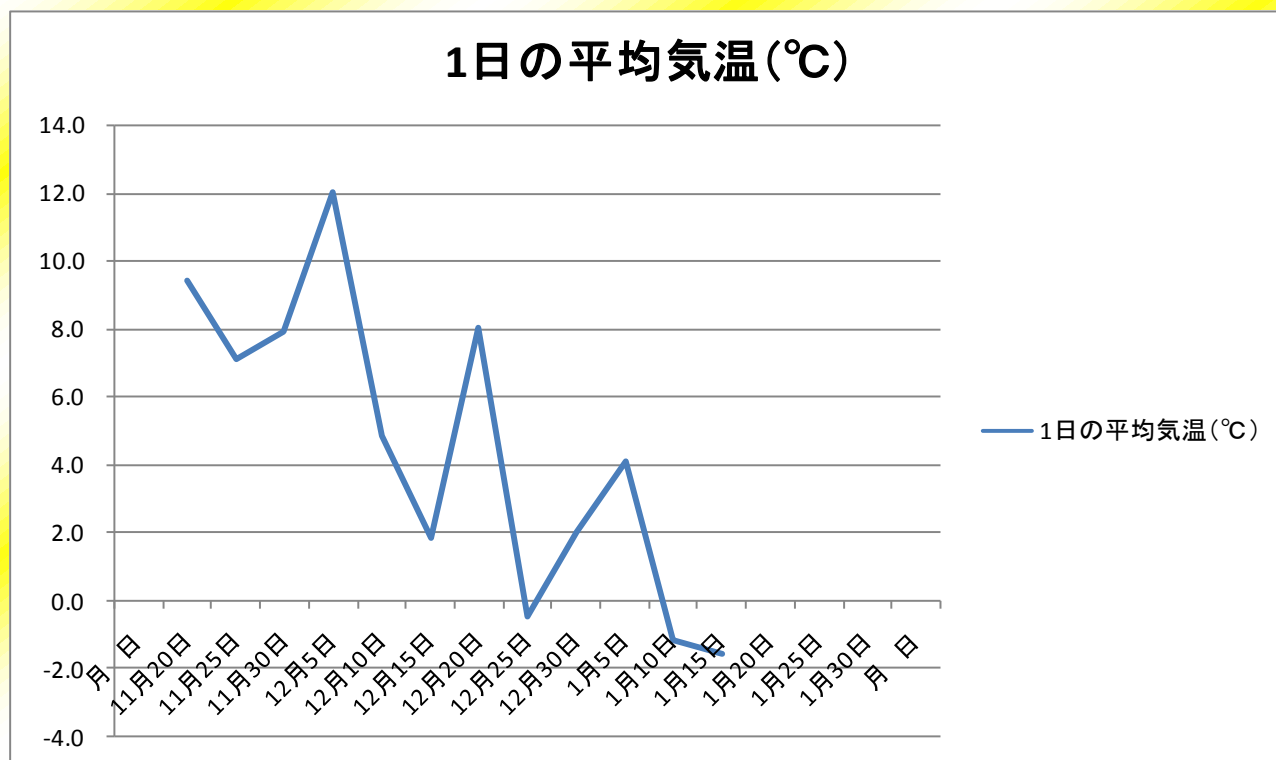
5. 51 g / 株

肥料無しの収穫量

9. 32 g / 株

栽培期間中の平均気温の変化

月が変わるときに、気温が高くなってそしてすぐに気温が下がるからとても不安定な気温。成長が遅れやすい。



肥料の効果の考察

① 写真を比較しての考察

肥料が無い小松菜は、育ってはいるけど小さく茎が細かったです。肥料を入れた小松菜は、すべてではないけれどほとんどが大きく育っていました。

② 収穫量を比較しての考察

わたしの小松菜は、肥料なしよりも小さかったです。学級の平均よりも、約3g小さかったです。理由は分かりませんが、多分、種を土に入れるとき、深く入れすぎたからだと思います。人差し指の第一関節くらいの深さで小松菜を植えていれば、平均までおいつけたかなあ～。と思います。また、低温対策の時も大きさの違いが出てきたのではないかと思います。なぜなら、ビニール袋をかけていたとき、少し穴が開いていました。その穴の近くにおいてあった小松菜は冷たい風に当たりやすいので、成長がおくれたのだと、思います。わたしのはその穴の近くにあったので平均より約3gちいさくなったのだと思います。

◎分かったこと・まとめ

- ・肥料なしの小松菜は、育つけど茎が細い。
- ・肥料なしでも育つから、大切なのは肥料よりも太陽の光や、気温である。

小松菜の栽培を通して分かったこと

小松菜の栽培は、初めてだったので最初何をすればいいのかわかりませんでした。でも栽培していくうちにいろんなことに築きました。まずは寒すぎるとそだちにくい。ということです。小松菜の旬は冬だから、寒くても平気だろうと思っていたけど、今年は寒すぎて小松菜の成長が遅い。と聞いて驚きました。旬が冬でも、今年のようなさむさだと小松菜は育ちににくいことが分かりました。次に間引きについてです。わたしは間引きをしていませんが、成長の悪いものを抜かないと、成長がいいものまで、悪くしてしまうことが分かりました。小松菜の栽培を通して分かったことはたくさんあります。わたしは今回学んだことを生かして自分でも家で野菜や植物を育てていきたいと思いました。